



あゆみ

～2月号～

仙台 YMCA 幼稚園
2023年1月27日発行

主 題 「力を合わせて」

聖書の言葉 「おのこの自分のことばかりではなく、他人のことも考えなさい」

フィリピの信徒への手紙 2：4

2月に入ると、今年度の保育もあと2か月となります。一日一日を大切に保育をしていきます。

1月の始業礼拝で「かみさまからのおくりもの」という絵本を読みました。「あかちゃんがうまれるとき かみさまはひとりひとりのあかちゃんにおくりものをくださいます。」という文章から始まります。5人の赤ちゃんが産まれて一人ひとりどんな贈り物をもらったかという「よくわらう」「ちからもち」「うたがすき」「よくたべる」「やさしい」というものです。この本を読んだ後に子どもたちに自分はどんなものをもらったかと聞いてみると「やさしい」「ちからもち」などと答えが返ってきました。（「プラレール」と答えた子もいました。。）

私はこの本が大好きで必ず1年に1度は礼拝で読んでいます。神様から贈られた才能と聞くと「勉強ができる」とか「運動ができる」など誰かより秀でたものが浮かんでしまいがちですが「よくわらう」「うたがすき」など当たり前になっているようなことをあえて取り上げているところがとても良い内容だと思います。

キリスト教のお話にタラントンという言葉が出てきます。タラントンは元来は重量や通貨の単位、現在でも通用するtalent（タレント/才能）の語源です。聖書では「神さまから授かったギフト＝それぞれの人に備わった才能」という意味です。

私は自分のタラントンは何かと考えると高校時代の部活を思い出します。泳ぎが得意でもなかったのに水泳部に入り、とても辛い練習を耐え抜きました。部活が終わってから母に「よく辞めずにがんばったね。」と褒められたことを今でも覚えています。自分にとっては当たり前と置いていたので、褒められてとても嬉しかったです。自分のタラントンはその時に褒めてもらったように「一度始めたら最後までやりきる」ということのような気がしています。だからこそ今の仕事が長続きしているのではないかと思います。

自分のタラントンは何かすぐに浮かびますか？保護者の方にもきっとあるはずですが、いつも自分では当たり前に行っていることでも神様から与えられたギフトだと思うと大切にしたいとなります。これを機会にお子さんやご家族のタラントンは是非見つけてみてください。（園長 高橋祐子）

もも組 ・好きなことを十分に楽しむ ・自分の気持ちを伝えようとする

いちご組 ・できるようになったことに自信をもって取り組む

ひまわり組 ・友だちと一緒に遊びをつくり上げる

ゆり組 ・最高学年として、自信を持って過ごす

・成長を喜び、周囲への感謝の気持ちを伝える

行事のお知らせ

2日(木) ひまわり組 3日(金) もも・いちご組 保育参観・懇談会

【参観時間】 9時30分～10時30分 【懇談会】 10時40分～11時30分

【持ち物】 スリッパ、筆記用具

※受付名簿に朝の体温を記載していただきます。体温を測ってからお越しください。

※詳しい流れについては後日発行する『保育参観だより』をご確認ください。

10日(木) 全学年 誕生会

13日(月) いちご組 個別懇談開始

懇談の日程の便りは、事前に配布してあります。都合のつかない場合は職員までお知らせください。

15日(水) PTA総会

【時間】 9:30～10:30

【場所】 101教室（または401教室）※後日お知らせします。

16日(木) いちご・ひまわり・ゆり組 わくわく保育

17日(金) 全学年 お楽しみ会

ゆり組が会を企画し、もも組・いちご組・ひまわり組に得意なことを披露します。

22日(水) ピンクシャツデー

全国のYMCAで取り組んでいる活動です。幼稚園でも、子どもたちに活動の主旨を伝えていきます。当日ピンク色のTシャツを着る等、ピンク色の物を身に着けて来ていただくと嬉しいです。

最も大切なことは、「想い」です。当日身に着けていなくとも、ご家庭でピンクシャツデーについて話をしてみてください。「いじめをしない」「悪口を言ってはダメ」などというマイナスな伝え方でなく、一人ひとりが大切な存在で、一人ひとりを認め合う大切さを伝える一日としたいと思います。

本日ピンクのシャツの形の用紙をお配りしました。記入後、シャツの形に切り取っていただき、お子さんに持たせてください。

24日(金) 全学年 絵本屋さん

25日(土) ゆり組 親子会

子どもたちが保護者の皆様を招待し、得意なことを発表します。

園児・・・9時までにゆり組に登園してください。

保護者・・・10時30分までに4階ホールへお集まりください。

12時終了予定

※受付名簿に朝の体温を記載していただきます。体温を測ってからお越しください。

※詳しい内容は『ゆりぐみだより』で発信します。

27日(月) いちご・ひまわり・ゆり組 アビさんとあそぼう

28日(火) ゆり組 プールフェスティバル ～ゆり組は今学期最後のプールです～

【時間】 9:40～10:40

※2階プールフロントから、子どもたちの様子をご覧になっていただけますが、写真撮影はご遠慮ください。

ももぐみだより

3人の新入園児を迎えクラス全員が揃った1月は、友達関係の広がりや深まりが見られました。「新しい友達に幼稚園のことを教えてあげよう!」と保育者が提案すると、「〇〇するんだよっておしえる!」「いっしょにあそぶ」など優しい言葉が出ていました。新入園の3人も、初めはドキドキしたり不安げだったりしましたが、少しずつ園生活にも慣れ、楽しめることを見つけられるようになりました。保育者やぬいぐるみを介すなどして友達と遊ぶ場面も見られます。

2月はさらに自分たちの思いを表に出しながら遊ぶ姿が出てくるのではないかと考えています。クラス活動として簡単なゲームやかくれんぼなどの遊びを取り入れ、みんなで楽しむ機会も大切にしていきたいと思えます。

2月のねらい

一つ目のねらいは『好きなことを十分に楽しむ』です。保育者たちは日々、もも組の子どもたちは遊ぶのが上手だなと感じています。自由遊びが始まると、自分のイメージを膨らませどんなことをするか考え、すぐに遊び始めているからです。2月はその好きな遊びを思い切り楽しんでほしいと思い、それができる環境づくりをより大切にしたいと考えています。例えば、外遊びの時間を他クラスとずらしもも組だけで遊べる時間を確保したり、子どもたちの興味が向くものがあればさらに楽しめるような工夫をしたりしていきます。これらは今までも行ってきたことではありますが、人数が増えた今だからこそもう一度大切に捉え、遊びの中から子どもたちの自主性を育てていけたらと思っています。

二つ目のねらいは『自分の気持ちを伝えようとする』です。子どもたちは保育者や友達と関わる園生活の中で、あらゆる場面で様々な思いを抱えています。しかし、もも組の年齢は月齢による個人差がまだまだ大きく表れるときなので、その思いの伝え方は子どもそれぞれによって違います。言葉で伝えようとする子、表情や行動などで示そうとする子と色々ですが、2月は特に“気持ちを伝えようとする”自体に目を向けて大切にしていきたいと考え、このねらいを立てました。

1月のねらいに引き続き、自分の気持ちがどのようなものであるかに気付けるよう言語化してあげ、さらにそれを表に表すことを促していきたいと思えます。保育者に言葉で伝えようとする子にはそれを受け止め、言えたことを認めていったり、友達同士で話すときになかなか伝わらない場合は橋渡しをしたりし、思いを伝える嬉しさを感じられるようにします。また、表情や行動などで伝えようとする子にはこちらが気持ちを汲み取ったり、選択肢を見せて選べるようにしたりしていき、経験を重ねられるようにしていきます。

～遊びの紹介～

最近園で取り組んだ遊びを紹介します。アレンジも可能なので、機会があればぜひおうちでも楽しんでみてくださいね☆

○寒天の感触遊び・・・大きめの寒天を適当な容器の中に入れ、手で触って崩していきます。崩したものをプラスチックコップやゼリーカップに入れるとおままごと遊びができます。食紅などで色をつけたり、寒天の中にお気に入りのおもちゃなどを入れて固め取り出す遊びにしたりしても楽しいです♪



いちごぐみだより

厳しい寒さが続いています。集まりで「かんぱ」が来ているらしい(しかも「さいきょう」の)、と話をすると、「きたかなあ」「さむいんだって…」と外を見ながら話す姿がありました。雪や氷をみつけると、触れて確かめ、時にはその冷たさに驚きながらあそびに取り入れています。冬ならではのあそびを楽しみ、自然の不思議さを味わいながらこの寒さを乗り越えたいと思います。

新しいお友だちが入り、より賑やかになったいちご組。さっそく名前を覚え、「いっしょにやろう」と話しかける姿がありました。そんないちご組全体に、「おともだちパワー」の効果が表れたのか、初めてやるゲームあそびでもみんなと一緒に楽しんでいる様子がたくさん見られました。子ども同士のつながりを大切にしながら、2月も様々なあそびを楽しんでいきたいです。

1月の子どもの姿

クラスであることが始まりました。それは、「おてつだい」です。普段から自分たちにできることは自然と手伝っていたすてきないちご組さん。ある日、教師が「お手伝いをお願いできる人を探している…でもお願いできそうな人がみつからない…」と話す、「ぼく、できるよ!」「わたしがやろうか?」と何とも頼もしい声が上がりました。昼食前後の挨拶や、お部屋で過ごす中の小さなお手伝いをお願いすることになりました。「おてつだいカード」を作成し、日替わりで2人ずつ、順番に担当していきます。始まったばかりの活動ですが、「あしたはだれかな」「わたしはいつかな」とカードをめくりながら、楽しみにしているようです。

2月のねらい

「できるようになったことに自信をもって取り組む」です。あっという間に2月になり、入園当初のことを思うと心も体も本当に大きくなったなと成長を感じます。今、子ども達が普通に、ごく当たり前にできていることを言葉にして褒めて伝えることで、子ども達自身が成長に気付けるようにしていきます。「できるようになったこと」を実感することで、自信をもって過ごしてほしいと考えています。進級を控えると「もっとできるよ」と求めすぎてしまうこともありますが、「ありのままのみんながすばらしい!」と伝えながら、いちご組で過ごせる時間をのびのびと楽しんでいきます。



ひまわりぐみだより

まだまだ寒い日が続きますが、園庭では雪が積もって喜んでいる子どもたちの声が響き渡っています。寒さも忘れるくらい楽しそうに園庭を走り回ったり転がったり、嬉しそうに雪遊びをしていました。普段とは違う遊びができて、さらに元気いっぱいなひまわり組でした。

3学期に入ってから、毎週みんなでゲームを楽しんでいます。最近では、子どもたちから「ハンカチ落としをしよう!」「椅子取りゲームをやりたい!」とお友だちや保育者を誘う姿も多くなりました。ゲーム中は楽しい反面、自分の番が中々回ってこないことに腹を立てたり、何度挑戦しても負けて泣いたりした子もいました。様々な気持ちを子どもたちと共感しながら過ごしています。

2月のねらいについて

2月のねらいは【友だちと一緒に遊びをつくりあげる】です。1月では全員で遊ぶゲームを主に楽しんできましたが、2月は5,6人のグループの時間を特に大切にしていきたいと思います。グループ活動ではヒヤシンスの水栽培やゆり組になるまでにやりたい事を話し合う活動を考えています。そこでクラスのお友だちと一緒に考え、自分の意見を話してみる、相手の意見を聞いてみることを経験して、友だちと協力することをさらに楽しんでほしいです。今まではあまり話したことがない子とも関わってみる機会を積極的に作っていきます。お家でグループ活動についての話ができた時は、どんな話をしたのか聞いてみて下さい。

ヒヤシンスの水栽培を始めました!

上記にもありますが、ひまわり組でヒヤシンスの水栽培を始めました。グループごとに育てるので、だれが水やりをするのか、どうしたらお世話が上手くいくのかみんなで試行錯誤中です。教室内に飾ってあるので、お家の方もお時間がある際、ぜひお子さんと一緒にどのくらい成長しているか確認してみてくださいね!



ゆりぐみだより

月曜日は、念願の雪あそびでした。最高のコンディションの中、子どもたちも教師も、お手伝いのお家の方も全員で楽しく行ってくることができました！子ども3人、大人1人で乗る大ソリが人気で、ある子たちは教師、お家の方、リーダーみんなを順番に誘い何度も滑っていました。ドキュメンテーションで様子を載せていますので、ぜひご覧ください。

2・3月のねらいについて

ゆり組の素敵なおところやより一層育ってほしいところ、私たち教師の願いを含めた【最高学年として、自信を持って過ごす】【成長を喜び、周囲への感謝の気持ちを伝える】の2つのねらいと立てました。

年が明けてから、室内ではすごろく、カードゲーム、ボードゲーム、けん玉。戸外では竹馬、縄跳び、大縄など難しいものにも、根気強く繰り返し挑戦しています。

少し前では、難しいことはすぐに諦めてしまう姿もありましたが、今は友だち同士でコツを教え合ったり、励まし合ったりし、できるようになったことも増え、自信をつけている子が沢山います。また、先週から“ゆりさんの素敵なおところ”という時間を設けています。1日2人ずつクラスのみんなから素敵なおところを伝えてもらいます。言われた側も伝えられる側も自然と笑顔になる楽しい時間となっています。

今、様々な場面で自信をつけている子どもたちだからこそ、これまで培ってきた力を存分に発揮し、時には切磋琢磨して挑戦し続けたり、時には小さい子にも教えてあげたりしながら、最高学年として自信や誇りを持ち過ぎていってほしいと思っています。そして、この姿を2月末に予定しているお楽しみ会や親子会に繋げていきたいと考えています。

また、みんなで園生活を振り返りながら、自分たちの成長を喜び合い、関わってくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきます。

♥友だちの素敵なおところ♥

先週から始まった素敵なおところの時間。お当番の子は前に出てきて、マイクを持ちみんなから伝えられる素敵なおところを聞きに回ります。始まると「あしがはやい!」「うんうん!」「やさしくて、かわいい!」「ほくもいたい!」と子どもたちだからこそ知っている素敵なおところが沢山できます。お褒めの言葉の数々に照れる子どもたちほら…毎日今日は誰かな?と楽しみにしている子どもたちです。

もう少ししたら、書き留めているノートをおたよりファイルの近くに置く予定です。楽しみにしててください。



毎日元気いっぱいのゆり組さんです☆彡